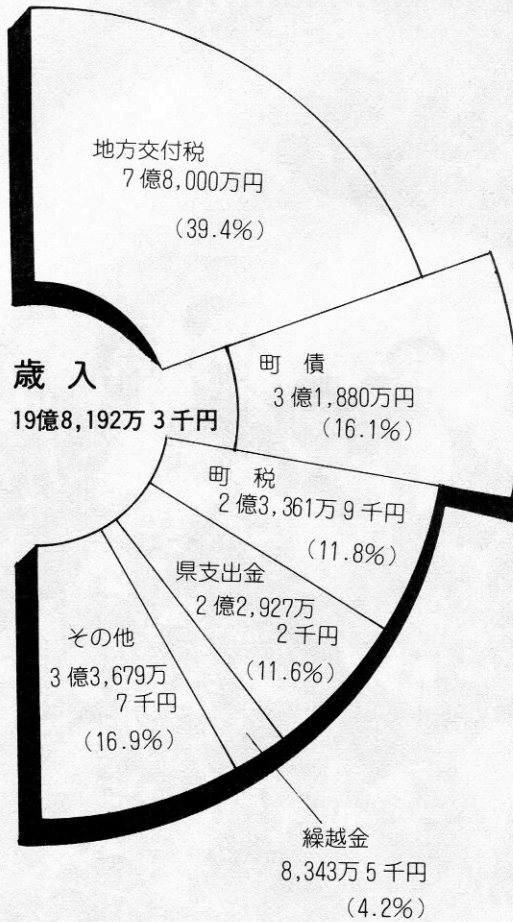


豊かに獲る 基盤づくり

をめざして

19億8,192万 3 千円



特別会計予算

()内は伸率

交通災害共済事業	553万 8 千円 (+ 0.4%)
国民健康保険事業	3億3,424万 3 千円 (+ 14.7%)
簡易水道事業	2億 174万 3 千円 (+360.7%)
同和福祉援護資金貸付事業	341万 6 千円 (△ 2.8%)
同和对策貸付事業	323万 6 千円 (+ 10.0%)
老人保健事業	4億7,497万 7 千円 (+ 27.2%)
合計	10億2,315万 3 千円 (+ 42.0%)

私が町民の皆様方のご信任をいただき町政を担当して早六年目を迎えました。

この間、本町の基本構想を基調とし、活力とうるおいに満ちた心豊かなふるさとづくりを目指して、諸施策を総合的かつ計画的に鋭意推進してきましたが、これも偏に町民各位の温かいご支援ご協力の賜であり、心から深く感謝しております。

近年、高齢化、ハイテク、高度情報化等、新しい時代の流れが急速におし寄せる中で、これからの町政は二十一世紀を展望した中長期的な視点に立って、新しい町づくりの三つの指針、すなわち「暖かい心のふれあい」

「住みよい環境づくり」「豊かに獲る基盤づくり」のもとに、皆様方とともに創意工夫を凝らし、住みたくなるような、また住んでよかつたと思われるような理想郷建設のために、力の限りを尽くしたいと思っております。

さて、六十二年度予算は昨今の厳しい財政事情の中で、一般行政経費は極力抑制に努め、限られた財源を生活関連基盤及び産業基盤等の整備充実に、重点的、効率的に配分し編成しました。

とりわけ本年度は、継続事業を多くかかえている実情を踏まえ、新規事業は直接日常生活に関連する簡易水道施設の南部地区拡張事業のみを計画し、また

昭和六十二年 予算策定にあたって

町長 江原 清

狩音ダム建設事業については、いよいよ本年度より本体の工事に入る予定となっております。今後は一時も早い完成を願うのみであります。

昭和四十九年度より十四年間継続実施してきた農村総合整備切にお願するものであります。

モデル事業は、本年度の農道整備事業をもって完了することとなり、この事業が町土伸展に果たしてきた役割を思うとき感無量のものがあり、皆様方とともにご同慶に耐えないところであります。

また、常々懸案として心に留めていた学校施設の整備については、六十三年度の着手に向けて具体的な調査、設計に入ることとして